

建築士の会「みしま野」

みしま野まちウォーク

茨木市宿河原町～高槻市氷室町



郡山宿本陣(櫓の本陣)

櫓の本陣の付近は石畳にして街道であることが分かるが、この先の茨木市、箕面市では、アスファルトの色を変えるなどして西国街道であることが分かるようにしてある区間がある。普通の住宅街にはいと色が途切れるので、西国街道を通して施してあれば街道あるきに地図もいらず気軽に歩けるだろう。



説明板より

郡山宿本陣(櫓の本陣)

京都と西宮を結ぶ西国街道沿いには、かつて山崎・芥川・郡山・瀬川・昆陽の五つの宿駅があり、郡山宿本陣は、その中央にあって重要な役割を果たしていました。この本陣は、享保三年(1718)に類焼にあつて、建物とともにほとんどの古記録が焼けてしまい、現在の建物は、享保六年(1721)に、西国諸大名などの寄付によって再建されたものですが、このような形で現存するのはここだけです。建物としては、母家二棟・土蔵三棟・納屋一棟・茶席一棟で、居間数は、茶席を含めて二十五あります。また、焼ける前の元禄九年(1698)の宿帳をはじめ、和時計・関札・駅鈴・古文書・火鋸銃・銃丸製造具などが数多く残っています。残された宿帳から、摂津・備前・備中・美作・四国の讃岐などの大名や、忠臣蔵で有名な赤穂城主 浅野内匠頭長矩が宿泊し、また慶応元年(1865)七月十五日に、明治天皇がお立ち寄りになっています。

この本陣の正門の脇に櫓の大樹があり、見事な五色の花を咲かせたことから、いつしか「櫓の本陣」と呼ばれるようになりました。

昭和二十三年十二月十八日に、国の史跡に指定されています。

茨木市教育委員会

写真:下段左)

土色のアスファルト舗装。街道にはふさわしい色。

写真:下段中)

道標は勝尾寺への道を示す。

写真:下段右)

宿河原町から鍛冶屋橋を渡り豊川1丁目に入る。





高槻市

大阪府
茨木市

ゴール

阿武山
280.87m

阿武山古墳

阿為神社
大念寺

川端康成旧跡

スタート

郡山宿本陣
(棧の本陣)

2万
1

市

新家

せつとんだ

とんだ

とんだ

とんだ

とんだ